

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月28日

事業所名 きらめき古堅

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	3	1	静かにする個室がある。一日の利用人数を調整している。	屋外・屋内活動グループやスペースを分けての活動も今後増やしていく。
	2	職員の配置数は適切である	2	4		落ち着いて集団活動に入れるように、児童の特性に応じ、環境調整を取り入れる工夫をしている。	児童に対する危険認知学習と、屋外活動での人員配置と特性に応じた見守り方を細かく計画して、継続して安全管理に努めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3		玄関以外の入口にスロープを設置し、トイレに背もたれと左右アームレストを設置している。	正門の傾斜鉄板部分と玄関通路タイル面に滑り止めシールを利用しており、今後も剥がれがないか等、確認と修繕をしていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2		全職員の出勤する事業所会議の日に実施している。	事業所目標を掲示する事で、途中入社スタッフにも確実に説明する事と、内容をいつでも確認・実行できる環境を整えていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2		事業所会議などで共有し、改善策を職員みんなで考えている	左記の内容以外では吸い上げられない保護者の要望や意向を的確に把握するためのアンケート調査を実施していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2		年に1度ホームページで公開できるように準備している。	来月ホームページで公表予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	1	関係機関や保護者からのご意見をその都度、受け止めている。	他事業所の方を呼んで、職員の働きをチェックしてもらう
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			毎週社内研修DVDなどを受講している。	毎週金曜日の就業時間内に15分の社内研修を実施
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			ニーズに合わせて支援方法を考えている	モニタリング内容をまとめて全職員で共有し、児童の変化に応じ主観とならない様にしていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			発達指標を用い把握に努めている。	職員間での情報共有に不足があるため、支援会議を通して活用を図る。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2		児童にさせたい事を取り入れている	一つ一つの活動内容を実施して、目的を吟味していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1		下校時間により固定化しつつある	児童が飽きないように活動に変化を持たせていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2		前もって予定を立てておき、朝礼でみんなと流れを確認している	利用時間帯によって外出プログラムを取り入れ、話し合って決める。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		子供の体調や状況をみて支援している	個別活動(知的・身体・情緒)で対応できない場合も課題を調整してグループ活動で対応していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		朝礼や昼礼でリーダーがその日の流れを発表している	全員の時間確保が難しい場合は、事前に役割を決める。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		終礼でその日の気づいた事や反省点をみんなで共有している	確実に情報周知出来るように、申し送りノートを活用していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		できるようになった事などを記録	日報記入者が支援計画書の内容確認をすぐ出来る工夫も整えていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	2		目標を達成している場合は、少し上の次の目標を立てている	基本的にスタッフ全員揃う時に実施するようにして意見をまとめられるようにしていく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4	1	1	実施しているが、創意工夫して発展させた活動も取り入れている。	ニーズに応じた活動を組み合わせ、PDCAサイクルを実践していく。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2	現場の人が参加している。会議前にスタッフ全員の意見交換をして準備するようにしている。	福祉専門性の高いスタッフが参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	学校からのプリントをコピーして、早下校の日や振替休日などを把握している	連絡帳やメール等で、学校行事等を確実に保護者から聞き取り確認し職員に周知する。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4	持病のある児童については保護者から医師の指示書の写しを頂き対応方法の連携を図っている	保護者から服薬や発作時の薬を預かり、保護者と情報共有して対応がとれるようにしているが、今後も変更は無いか確認していく。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	4	モニタリング担当者会議の場に参加する事や相談員から情報収集している。	保育所訪問以外に、相談員や保護者からも就学前の様子を聞き取っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	1	今年度、該当児はいませんが情報提供書様式は準備する事が出来る。	必要に応じて、相談員等に支援記録やアセスメント等の情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	2	委託の公認心理師に事業を相談する機会がある。	発達支援センター等行われるzoom研修に参加予定。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	2	児童館や公園などに行き、地域の子供たちと関わっている	・地域の広場や児童館遊びをプログラムにいれている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3	2	事業所内外の参加している社員から情報は受けている。	現時点では、職員の勤務時間の都合上参加できないので、改善策を検討します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	保護者と現状の状況を共有している	送迎時にも状況を伝え合えるように、時間に余裕を作っています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	1	村のペアレントトレーニングがある際に、保護者へ声掛けしている	現時点では、ペアレントトレーニングという形ではありませんが、必要に応じて適切な支援が出来るようにしていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	1	長期休みは利用者負担額が多いことを保護者へ説明している	初回利用にあたって管理者で行っている。わからないことが無いようにガイドラインを確認する。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	連絡帳や申し送りの際に相談に乗り、アドバイスや情報共有している	適切な支援の方向性を知るため、家庭では見せない児童の様子を随時報告し、定期的に面談や助言を行います。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	クリスマス会や運動会などを計画し、保護者同士の交流している	今後も感染対策を実施しながら、実施したい。保護者会で互いに相談協力出来る機会を設けていく予定。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2	苦情があった場合は、他職員へ共有し改善策を考えている	必要に応じて連絡帳や、送迎時での保護者との会話の中でこまめに報告していきます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	1	活動表やLINEで情報を共有している	継続して活動表や連絡帳およびメールで発信しますが、必要に応じてその他ツールの活用を検討する。
	35	個人情報に十分注意している	5	1	書類、携帯電話、カメラ等は鍵付きキャビネットに保管しています。	継続してブログやパンフレットの写真掲載等、同意を得て、細心の注意を図りながら行っていきます。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		ジェスチャーや発語、絵・写真など、様々な工夫をして児童、保護者との意思伝達を行っています。	必要に応じて伝達手段を取り入れていきます。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	1	コロナ感染症対策で実施できなかった。	地域に開かれた企画内容を考えてみる。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	文書やPDFで職員や保護者へ流している。	保護者への周知はしていなかった為、機会を作り発信していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	活動に避難訓練を取り入れ定期的に行っている	実際に避難場所までの時間を測定して、内容を保護者へ報告できるよう取り組みます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	研修を実施して事例をあげ話し合う機会を設けた。	研修以外にも、場面や言葉づかいを含めた日々の確認を職員間で話し合っています。新任職員にももれなく周知していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	安全管理上、門扉や出入り口の開閉管理は職員が行い、道路への飛び出しや、無断外出が生じないようにしています。(乗車時のドアの開閉含む)	現時点において、同意書はすでに作成しているが、該当児童はなし。しかし、やむおえず、該当児童が発生した場合、保護者に説明し理解を図っていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	卵アレルギーの児童のおやつや食事に配慮している。	必要に応じて指示書の提出願いや保護者確認を行い職員間での報連相を強化します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		終礼でヒヤリハットを共有し、その後作成し、再度職員で確認している	事業所会議等で早急な情報共有・対策を図っていきます。